

第123期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

DiD 大同工業株式会社



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第123期第2四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

平成27年12月

代表取締役社長 新家 康三

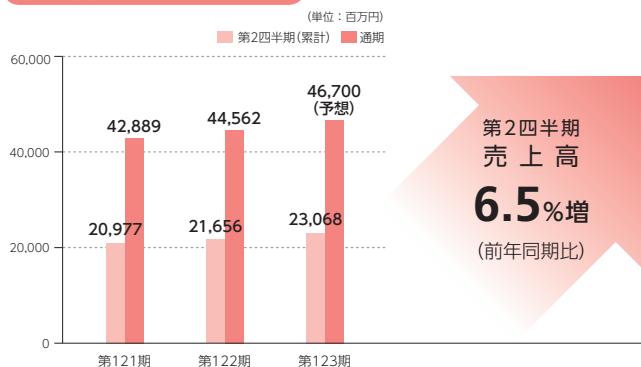
事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済の改善基調が続いているものの、中国経済の成長ペースが鈍化し、資源安・通貨安の影響を受け新興国でも成長が鈍化したこと等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。国内においては、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善傾向に

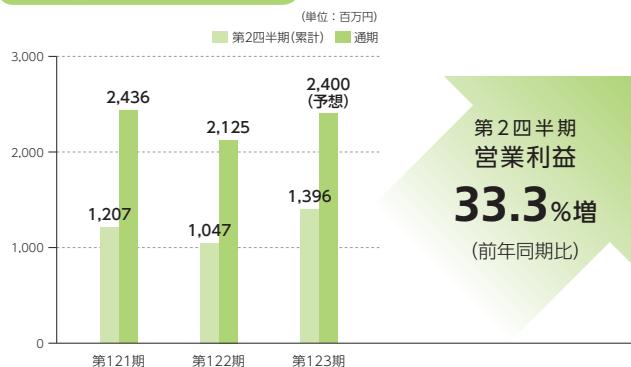
より緩やかな回復基調が続きました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、国内では、完成車メーカーの海外生産移管の影響等により、厳しい受注状況であったものの、アセアン、インド、欧州を中心に、二輪車用チェーンの受注が好調に推移し、また、北米では、昨年後半から四輪車メーカーへの量産納入を開

売上高



営業利益



始したこと等により、受注は堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は230億68百万円（前年同期比6.5%増加）、営業利益は13億96百万円（前年同期比33.3%増加）、経常利益は12億61百万円（前年同期比4.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億92百万円（前年同期比37.0%減少）となりました。

なお、中間配当につきましては、期初の計画どおり実施を見送らせていただきたいと存じますので、何卒ご了承承りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、米国の金融政策が正常化に向かう中、中国を始めとするアジア新興国の景気が下振れし、日本や欧州等先進国の景気も下押しされるリスクが意識されるなど、引き続き予断を許さない状況が続くと予

想されます。

このような状況のもと、当社グループでは『たゆまぬ挑戦で未来を切り拓く』をスローガンとする第10次中期経営計画（2015～2017年）を策定し、本年よりスタートしております。ものづくり企業としての原点に立ち返り、事業領域・技術領域の拡大を図るとともに、成長市場・成長分野の取り込みを行ってまいります。また、多様な人材の活用と次世代を担う人材を育成することにより、常に発展しつづける企業体質づくりを進めてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

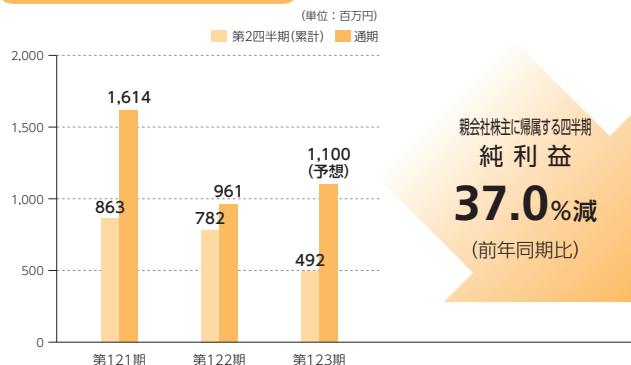
【会計基準等の適用に伴う変更に関する注記】

(注) 当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用し、「四半期（当期）純利益」を「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」と、また「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期（当期）純利益」としてしております。なお、本報告書においては、前連結会計年度までの四半期（当期）純利益についても科目名を統一してしております。

経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

● 日本

二輪車用チェーンにおいて、為替の円安を背景とした国内完成車メーカーの生産増加による受注の増加に加え、欧米を中心とした補修市場向けの受注が好調に推移したものの、四輪車用チェーンにおいて完成車メーカーの海外生産移管の影響等により受注が低調であるとともに、産業用チェーンにおいても製鉄・セメント関連の設備投資が依然低調であった結果、売上高は116億27百万円となりました。

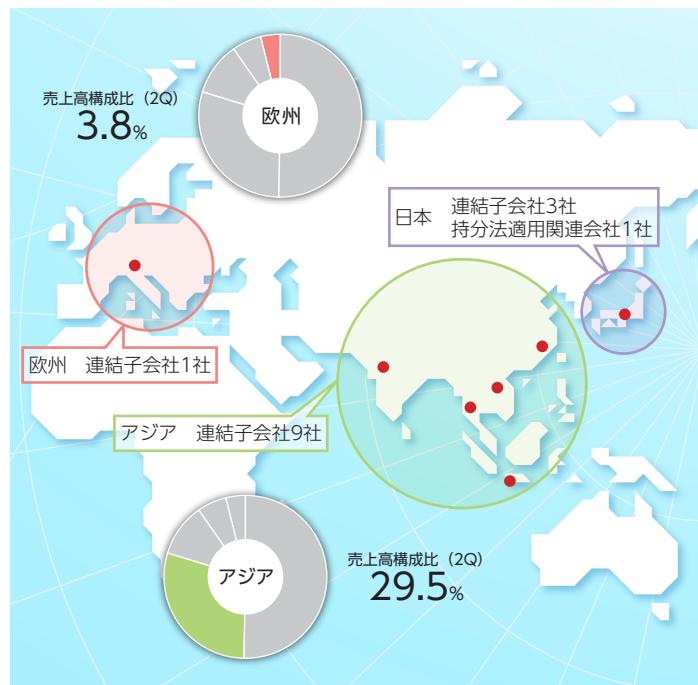


● ご参考 ●

仕向地別セグメント

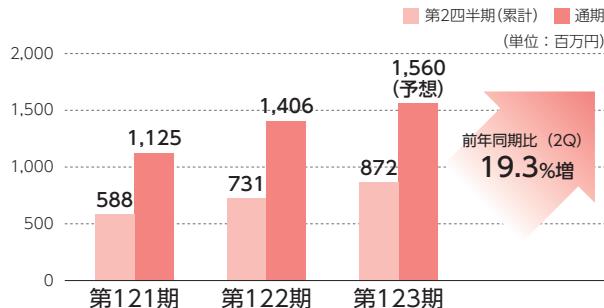
(顧客の属する国または地域を基準としたもの)

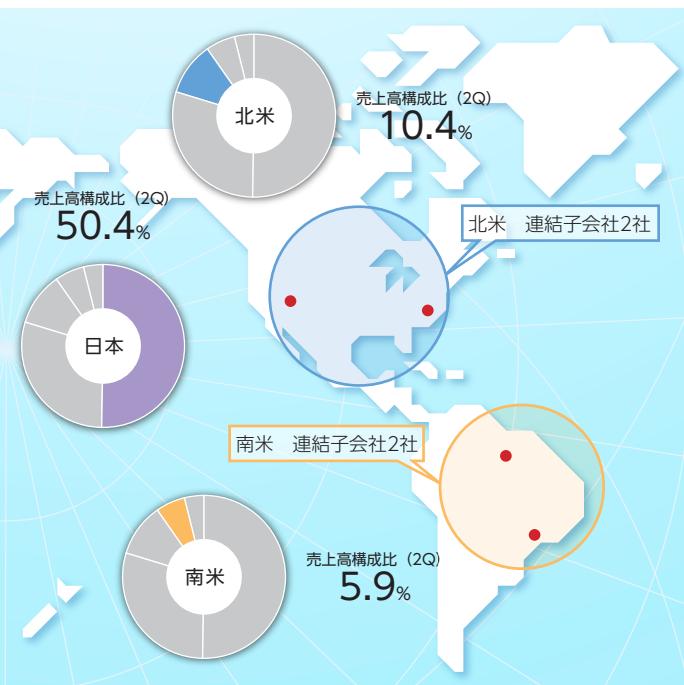
	売上高 (百万円)	構成比	前年同期比
日 本	10,370	45.0%	4.1%減
ア ジ ア	7,392	32.0%	12.7%増
北 米	2,313	10.0%	87.4%増
南 米	1,589	6.9%	11.8%減
欧 州	1,233	5.3%	14.2%増
そ の 他	168	0.8%	5.0%増



● 欧 州

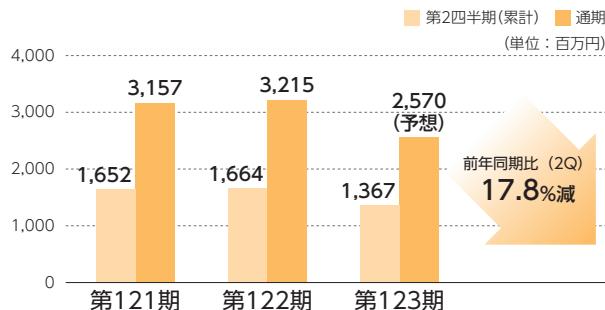
二輪車用チェーンにおいて、昨年に続き補修市場向けの受注が好調に推移するとともに、完成車メーカーの生産増加によりメーカー向けの受注も順調であった結果、売上高は8億72百万円となりました。





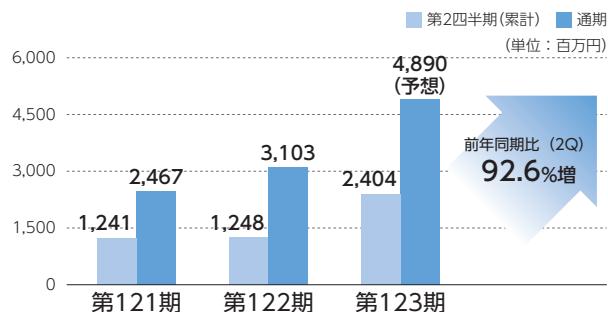
● 南 米

市場の景気低迷により、完成車メーカーの受注が低調に推移した結果、売上高は13億67百万円となりました。



● 北 米

四輪車用チェーンにおいて、組立生産の本格稼働に伴う完成車メーカーへの量産納入を昨年後半より開始したことに加え、産業用チェーンにおいて、景気回復に伴い受注が順調に推移した結果、売上高は24億4百万円となりました。



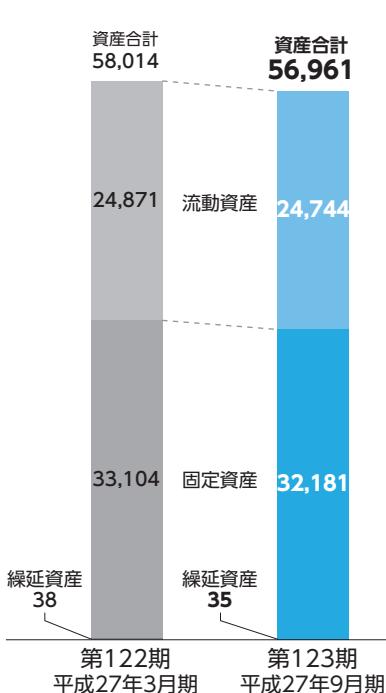
● アジア

二輪車用チェーンにおいて、アセアン市場向けの受注が好調に推移したこと、さらに昨年一貫生産を開始したインドにて着実に受注が増加するとともに、四輪車用チェーンにおいてはタイ及びインドネシアを中心に、コンベヤ関連においてはタイ及び中国を中心に受注が順調であった結果、売上高は67億97百万円となりました。



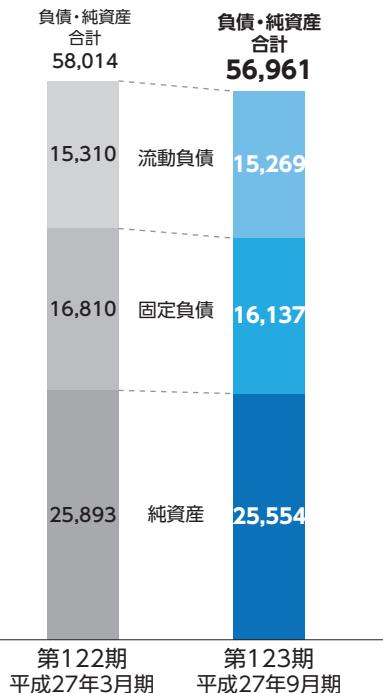
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円

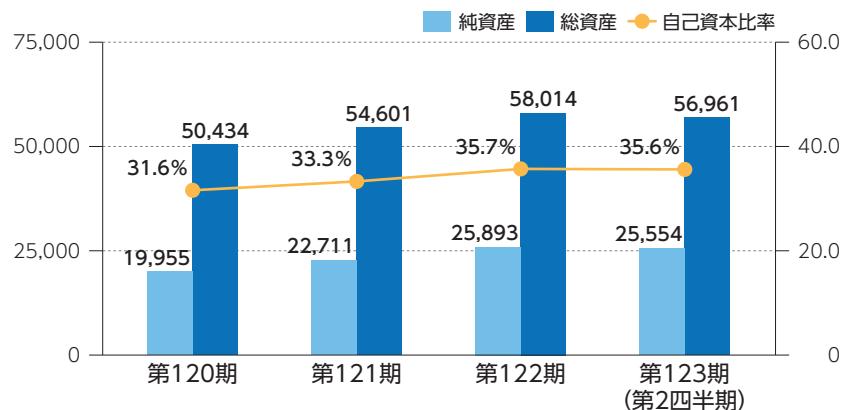


ポイント解説

総資産は、建設仮勘定が増加したものの、原材料及び貯蔵品、建物及び構築物、投資有価証券が減少したことなどにより、前期末と比べ10億52百万円減少しました。負債は、支払手形及び買掛金が増加したものの、借入金、繰延税金負債が減少したことなどにより、前期末と比べ7億14百万円減少しました。純資産は、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が減少したことなどにより前期末と比べ3億38百万円減少しました。

純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

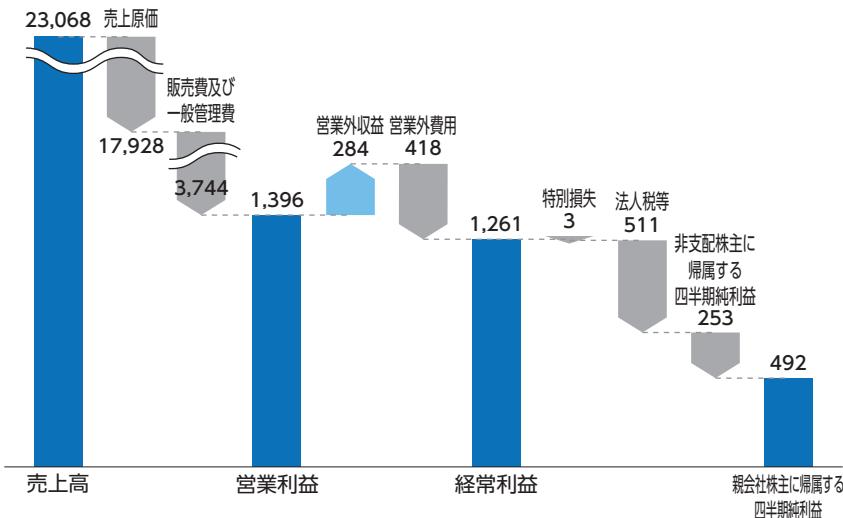


ポイント解説

自己資本比率は、その他有価証券評価差額金の減少などにより純資産が減少したものの、投資有価証券の減少などにより総資産も減少したことから、前期末と比べほぼ横ばいの35.6%となりました。

● 損益の状況 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

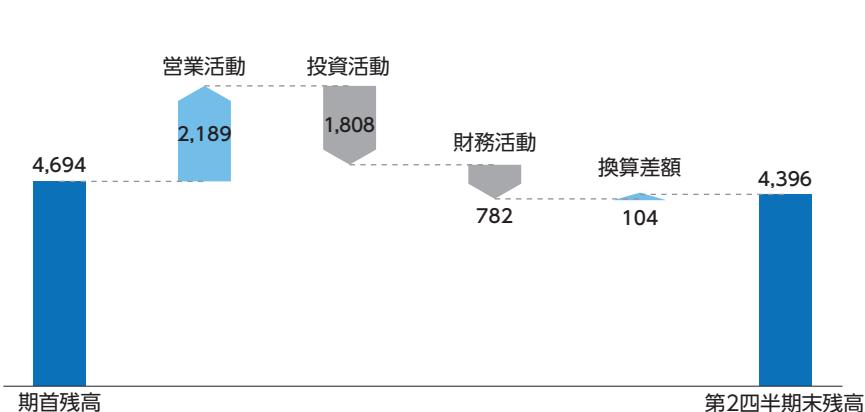
売上面では、国内における自動車メーカーの海外生産移管と南米における景気低迷の影響を受けたものの、アジア、北米、欧州においては、成長市場・成長分野の積極的な取り込みにより受注が好調に推移した結果、前年同期を上回りました。利益面では、為替及び法人税等の影響を受けた結果、前年同期を下回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に属する四半期純利益
第123期 平成27年9月期	23,068	1,396	1,261	492
第122期 平成26年9月期	21,656	1,047	1,205	782

● キャッシュ・フローの状況 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、退職給付に係る負債が減少したものの、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費を計上し、たな卸資産が減少したこと等により、21億89百万円の獲得となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出、有形固定資産の取得による支出等により18億8百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入の返済による支出、配当金の支払等により7億82百万円の使用となりました。

会社の概況

商号：大同工業株式会社
 設立年月日：昭和8年5月25日
 資本金：27億2,637万円
 従業員：718名（個別） 2,458名（連結）

事業所

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地
 福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
 動橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1
 東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4（MS-2ビル）
 大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12（新家ビル）
 名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7
 浜松営業所：浜松市北区三方原町1130-2
 熊本営業所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

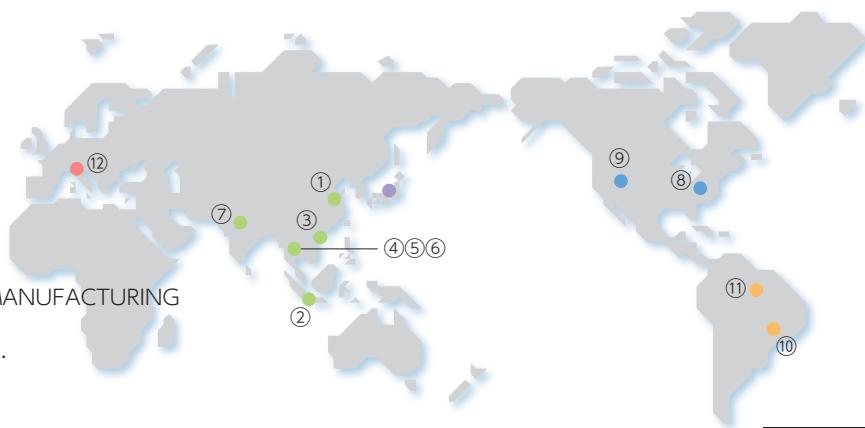
グローバルネットワーク

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条（常熟）有限公司
- インドネシア ② P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ③ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- タイ ④ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑤ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑥ INTERFACE グループ（3社）
- インド ⑦ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- アメリカ ⑧ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- アメリカ ⑨ RAD MANUFACTURING, INC.
- ブラジル ⑩ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑪ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑫ DID EUROPE S.R.L.



- 日本
- アジア
- 北米
- 南米
- 欧州

会社役員状況

会社における地位	氏名
代表取締役社長	新家康三
代表取締役副社長	新家啓史
専務取締役	立田康行
常務取締役	菊知克幸
取締役	清水俊弘
取締役	澤保
取締役	棚橋健一
常勤監査役	福田治
監査役	笠松靖男
監査役	東森正則

- (注) 1. 取締役澤保氏、棚橋健一氏は社外取締役であります。
 2. 監査役笠松靖男氏、東森正則氏は社外監査役であります。
 3. 当社は、取締役澤保氏、取締役棚橋健一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。

株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株 (自己株式51,753株含む)

株主数：4,161名

大株主（上位10名）

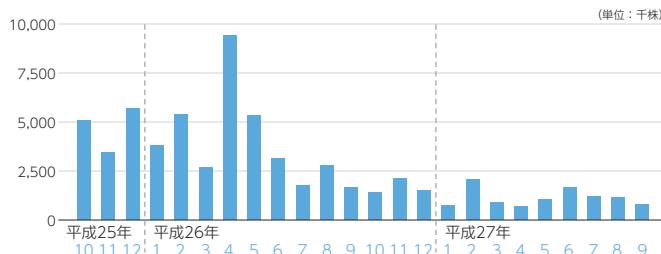
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社 飯田	2,308千株	4.90%
株式会社 北國銀行	2,281	4.84
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
加賀商工有限会社	1,313	2.79
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
株式会社みずほ銀行	1,291	2.74
新家 萬里子	1,287	2.73
三井住友信託銀行株式会社	1,176	2.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,164	2.47

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

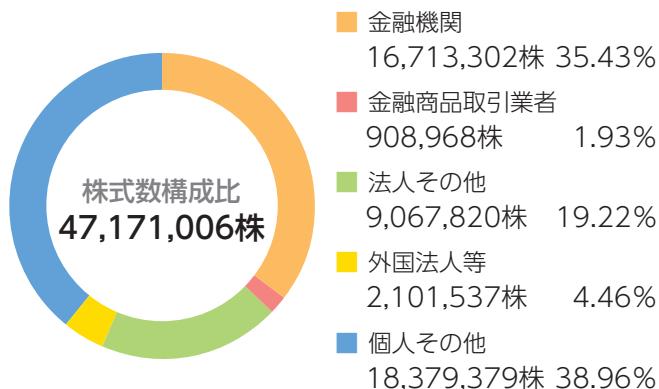
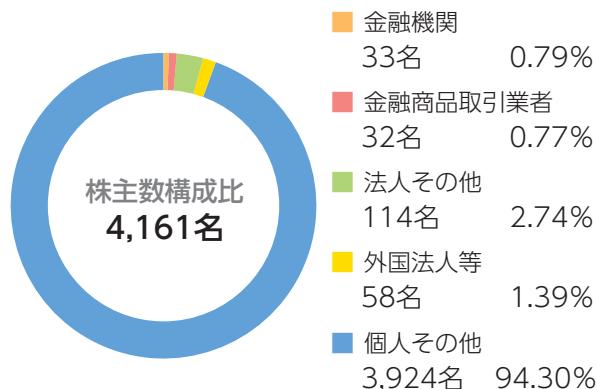
株価(高値・安値)の推移



出来高の推移



株式分布状況



■ ロードレース世界選手権の全3クラスでDIDサポートライダーが年間チャンピオンを獲得！

2015年のロードレース世界選手権（MotoGP™）において、MotoGP™、Moto2™、Moto3™の3クラス全てで、弊社製品を使用するチーム・ライダーが年間チャンピオンを獲得しました！また、全日本選手権ロードレースにおいても、全4クラス中3クラスで弊社製品を使用するチーム・ライダーが年間チャンピオンを獲得しました！

これら栄冠は、チームとライダーの研鑽の賜物ですが、この結果に当社製品が少なからず寄与できたことは大変光栄であると同時に、世の中にDID製品の高い性能と信頼性を証明することが出来ました。引き続き、DIDサポートライダーの更なる活躍を期待下さい！



▲2015MotoGPチャンピオン
ホルヘ・ロレンソ選手（Movistar YAMAHA MotoGP所属）

■ 金沢市で個人投資家向け説明会を開催

去る11月16日（月）、石川県金沢市内で個人投資家向けの会社説明会を開催いたしました。

個人投資家向けの説明会ということで、当社への理解を深めていただくことを第一に、当社の事業内容やグローバルな展開状況、中長期的な展望などの概要に加え、直近の当社第123期中間決算の概要などを重点的に説明させていただきました。当社としてはじめての試みでありましたが、多数の方々にご参加いただき、当社をより深くご理解いただける良い機会となりました。

今後とも、積極的なIR活動を行ってまいりますので、引き続きご支援下さいますようお願いいたします。



▲説明会場内の様子

ベトナム子会社D.I.D VIETNAM CO., LTDの概要



▲DVNエントランス

会社設立時期：2010年9月

資本金：435千米ドル

所在地：2nd Floor, LASI Building, 345 Kim Ma St, Ngoc Khanh Ward, Ba Dinh Dist, Hanoi, Vietnam

従業員数：12名(2015年10月時点)

ホームページURL：<http://www.didvietnam.com.vn/>

D.I.D VIETNAM CO., LTD (以下DVN) は、ベトナムの首都ハノイの新市街地区に事務所を構えております。周辺には日本を含む諸外国の大使館・領事館が多い関係上、外国人向けの学校や病院もあることに加え、郊外の工業団地へのアクセスも良いことから、多くの外国企業が集積するエリアとなっています。

ベトナムでは、従来よりホーチミンを商業・経済の都、ハノイを政治と文化の都とする認識が根強い傾向がありますが、数年前まではホーチミンと近郊のエリアには外国企業の投資が過度に集中する事を抑制する規制が敷かれていたため、ホンダ、ヤマハ、トヨタといった日系主要自動車メーカー様の多くはハノイ近郊の工業団地に進出した経緯があります。

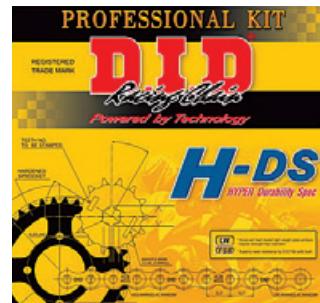
ベトナム戦争の頃より、高い汎用性と耐久性で人気を博したホンダのカブの影響により、バイクの事を「ホンダ」と呼ぶほど、日系二輪車メーカーへの信頼は厚く、ホンダ、ヤマハ、スズキの日系3社でベトナムの二輪車市場の約8割のシェアを占めていると言われています。その様な状況の中、ベトナムにおける日系二輪車メーカー様へのタイムリーな納期対応及び迅速な技術サービス等の提供を主な目的として、2010年9月に大同工業株式会社100%出資による現地法人としてDVNは設立されました。

DVN設立以前より、DIDチェーンはベトナムでもトップブランドとして広く認識されておりましたが、ベトナムではバイクが車やトラックの代わりとして酷使される環境のため、交換部品としてのチェーンは補修市場でも大きな需要がある一方で、他のアセアン諸国同様に粗悪な模倣品が蔓延し、補修市場のシェア拡大に支障が出ておりました。この状況に対し、マーケティングと販売ネットワークの強化を通じて、DIDブランドの正規品のPR活動を推進すると共に、2012年よりグループ会社であるタイ子会社製

のドライブチェーンとスプロケットをセットとした「チェーンキット」の販売を開始。更に、DIDグループのグローバルネットワークを駆使して、インドネシア子会社製の鉄リム、タイ子会社製のサイレントチェーン、インド子会社製のカムチェーンの販売を順次開始し、商品力と販売力の向上により、お客様の選択肢の多様化を図り、シェアの拡大に努めております。

ベトナムは社会主義共和国であり、共産党による事実上の一党支配であるという特殊な環境下にあります。昨今、政府の開放政策によりGDPは急速に伸びてきておりますが、まだ他のアセアン諸国と比較しても10年は遅れていると言われております。しかし、世界13位の約9,000万人の人口、平均年齢29歳、人口の50%以上が25歳以下という若い力が漲る国でもあり、教育水準が高く穏やかで勤勉な国民性から、これからの更なる成長が期待されています。

今後も私たちDVNは、この国の成長と共にシェアの拡大と自社の成長を図り、DIDグループが展開するグローバル化の推進に更なる寄与ができますよう、グループ各社との連携を深めながら、東南アジア地域における販売拠点としての役割を担い、DIDブランドの一層の浸透・発展のため、従業員一同、努力を重ねてまいります。



▲DVN取扱品「チェーンキット」

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	1,000株
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットHP URL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6373

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com

